

行政視察等報告書（個人用）

令和 2 年 1 月 28 日

知立市議会議長 様

報 告 者	杉山 千春（公明党）
日 時	令和 2 年 1 月 21 日（木）13 時～15 時
視察（研修）場所	愛知県田原市 田原市図書館
目 的	「まちづくりにつながる行政・議会支援サービス」について

調査事項

1、田原市図書館による「まちづくりにつながる行政・議会支援サービス」

(1)、行政・議会サービスとは

∴市の職員や議員等を対象に、図書館の資源を活用して、業務の効率化や政策立案事業 PR などに繋がるサービスを提供。

◎まちの課題や取り組みを、住民にむけて発信するサービス

① 取り組みの背景（目的・経緯・必要）について

「議会支援」は、「行政支援サービス」の枠組みのなかで始まった。そのため、サービス内容や受付から回答までの流れは、基本的には行政支援と同じである。平成 28 年度、議会支援が試行から本格実施へ移行した際に、「行政支援サービス」から「行政・議会支援サービス」に名称変更。現在のサービス対象は、行政・議会職員、議員、市内小中学校教員、学校司書と幅広く、5 種類のサービスを展開している。

★サービスの概要

5 種類 （調査・複写・貸出・展示・学校）

対象 行政職員、議会事務局職員、議員、市内小中学校教員、学校司書

受付 申込書を提出（直接、電話、メール、FAX）

担当 参考郷土チーム 5 名

1、サービスの目的

- ◎ 以前より行っていた記事速報を廃止して閲覧のみの DB にしたことによる、行政職員のマイナスイメージをプラスに転換するため
- ◎ 図書館資料やサービスの利活用促進のきっかけづくり
- ◎ ほかの部署からの依頼に継続して対応していくため、業務体系の整備（利用案内・申し込み書）

2、サービスの経緯

- ◎ 平成 24 年 4 月 : 「行政支援サービス」開始
【新聞記事見出し DB】運用開始
- ◎ 平成 27 年 4 月 : 議会支援、試行開始
- ◎ 平成 28 年 4 月 : 議会支援、本格実施へ
- ◎ 平成 29 年 4 月 : 「行政・議会支援サービス」に名称変更
個人カードの貸し出し対応
- ◎ 平成 30 年 2 月 : 学校教育支援（調査の援助）を開始
- ◎ 令和元年 11 月 : 「第 5 回図書館レファレンス大賞」
文部科学大臣賞を受賞

※レファレンス

議会の調査では行政視察先の情報や先進事例ほか議会活動に関する依頼が多い。具体的な事例としては、視察先の「廃校の利活用」について、「議会における BCP」先進事例について、「子どもや若者の貧困対策」についてなどがある。

平成 28 年 1 月には、市議会主催の議員・議会事務局・図書館の合同研修「一般質問に使える議会図書室」で図書館のサービスやデータベースを紹介した。3 月には、過去の事例をまとめた「レファレンス事例集」を作成して議員のタブレットに配信。

3、議会との連携

令和元年度

連携イベントへの取り組み

「図書館で議員と語ろう」



「図書館で議員と語ろうホリデー」

4、サービス取り組みの成果

- ◎ 図書館事業への協力者が増える
- ◎ 地域資料の収集にプラス（声掛けしやすい関係）
- 地域の課題や話題が身近に
- ◎ 図書館で何ができるかを考えて動く
利用者のニーズを踏まえた選書、棚づくり

まちの課題解決の促進につながる

市民→議会への活動つながる→促進→そこに図書館がある

5、今後の展望

- ◎ 地域と住民の課題を知る、図書館が持っている資源(資料情報・空間人)を知る、そしてサービスを活かす
- ◎ 住民にとって、まちの課題が身近になるような取り組みを考える
- ◎ 利用者(行政・議会・学校)のニーズに合わせた対応を心掛ける
- ◎ 受け身でなく積極的に取り組み、利用者との信頼関係を築く

【知立市への反映・課題・所感】

図書館の業務においてレファレンス(調査の援助)という形で行政、学校、議会に対してあることを今回の田原市の状況で初めて知った

田原市図書館は、まちづくりに貢献する図書館をめざし、市民の調べ物を手伝うレファレンス業務を発展させ、行政と議会の調査活動を支援するサービス等の実施している。まちづくりに深く係る試みに高い評価があり

「第5回図書館レファレンス大賞」を授与された。特に議会と市民とつなぐ活動もまちづくりのひとつととらえて、図書館内で「写真で見る田原市議会」を展示するサービスを拡充。「図書館で議員と語ろうホリデー」等の会場提供等されている。ないものねだりと感じてしまうのは私だけの思いなのか。議員が調査の依頼をお願いできるということ自体、申し訳ないこと。自身の責任でやること。とできる範囲の材料で甘んじていたことは、結局市民にとってプラスにはなっていなかったのか。また議会と市民のつながりを、積極的に応援して下さる機関が図書館というありがたい存在。市民と一番つながり利用している公共施設の図書館が、会場となるイベントが知立市でも行うことができれば、多くの世代に議会をより知っていただけると、確信する。また、知立市の図書館でできるレファレンス事業に、議会側からも向き合うことが、よりよいまちづくりとつながっていくと。